

(東証第 1 部 コード番号 8095)

2014 年 11 月期第 2 四半期
決算説明会資料

2014 年 7 月 24 日 (木)
イワキ株式会社



連結業績の概況

今後の取り組み

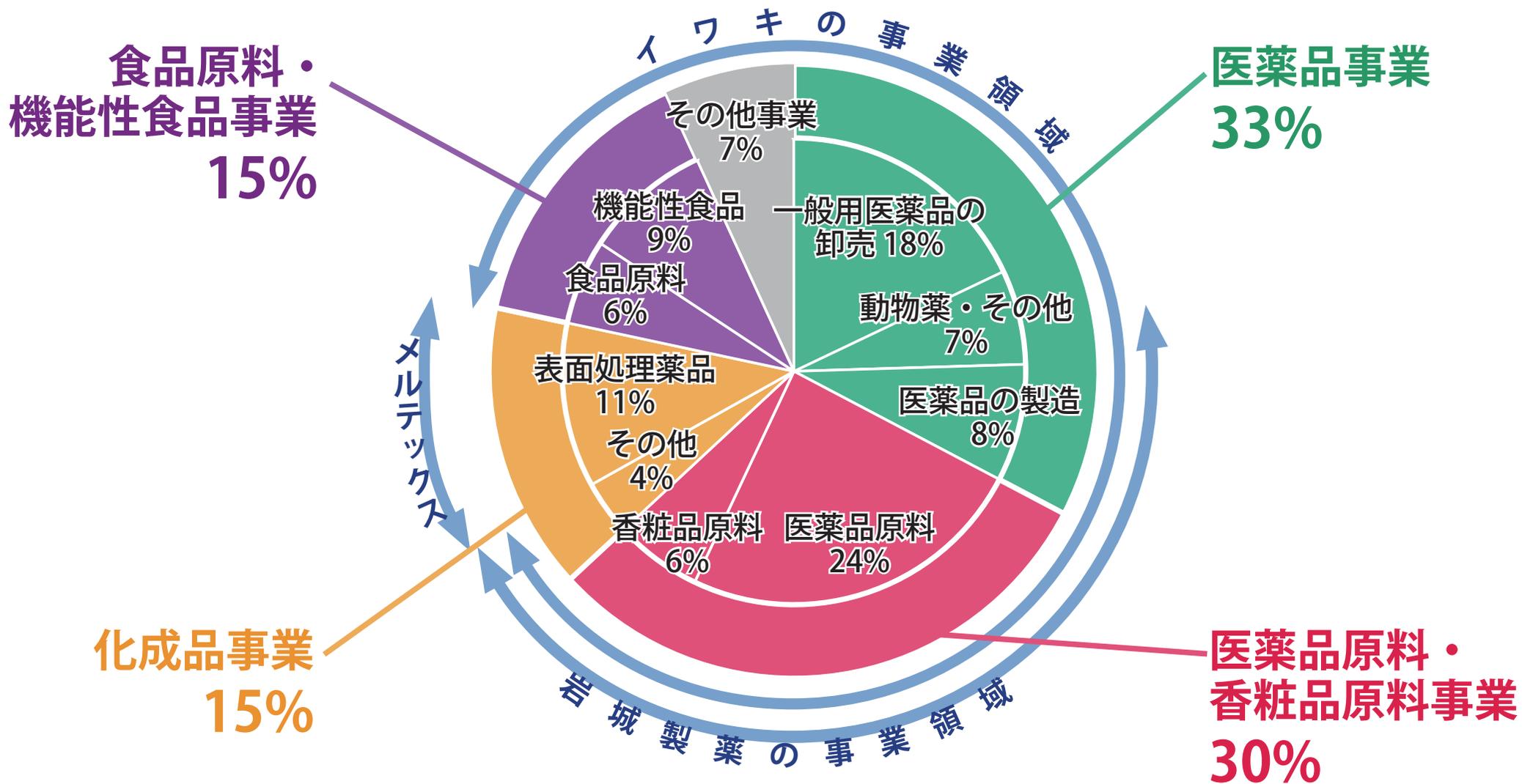
ご参考資料

連結業績の概況

取締役経理部長 熱海 正昭

イワキ・グループ
とは

「医薬品」を中心に
「研究開発」・「製造」から「販売」までの一連の事業活動において
「原料」から「製品」までの幅広い商品・サービスを提供しています



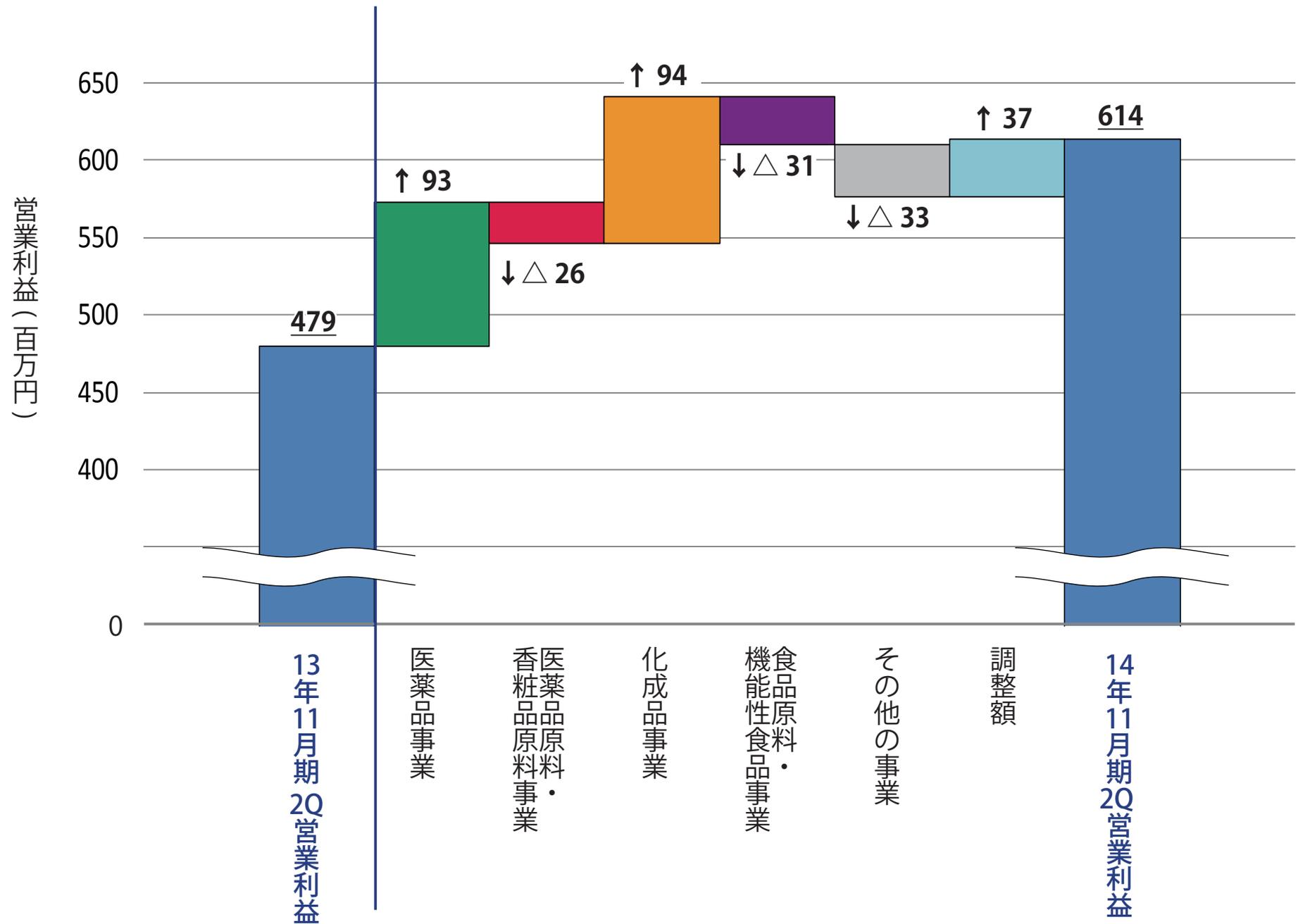
2014年11月期第2四半期は前年同期に比べ増収・増益となりました。

(単位：百万円)

	2013年11月期 第2四半期	2014年11月期 第2四半期			
	実績	実績	前年同期 増減率	予想*	予想比
売上高	25,673	26,736	4.1%	26,000	102.8%
医薬品	8,353	8,744	4.7%		
医薬品原料・化粧品原料	7,715	8,260	7.1%		
化粧品	3,792	3,829	1.0%		
食品原料・機能性食品	3,870	3,981	2.8%		
その他	1,941	1,921	△1.0%		
営業利益	479	614	28.1%	400	153.5%
医薬品	49	142	190.6%		
医薬品原料・化粧品原料	503	476	△5.2%		
化粧品	△26	68	—		
食品原料・機能性食品	193	162	△16.0%		
その他	64	30	△52.0%		
調整額	△305	△267	—		
経常利益	558	581	4.2%	430	135.3%
四半期純利益	343	318	△7.0%	250	127.6%

※ 2014年1月14日 決算短信にて開示した連結業績予想

医薬品事業、化成品事業の増益が貢献し、連結営業利益も増益を達成することができました。



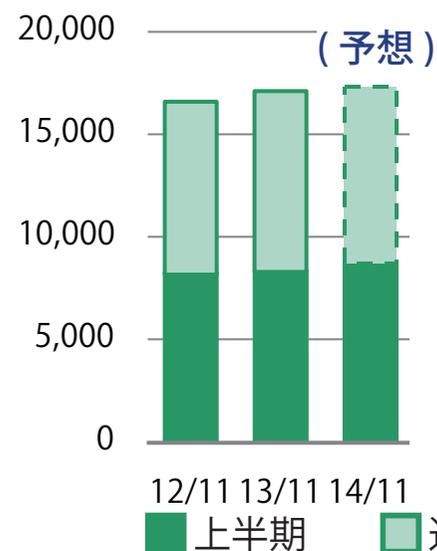
医薬品

ジェネリック医薬品の好調により営業黒字を拡大

ジェネリック医薬品は外皮用剤が大幅に伸長
緩下剤、受託品も好調に推移

ドラッグストア向けでは新規取扱品や自社企画
品の拡大により堅調に推移

□売上高 (百万円)



□営業利益 (百万円)



医薬品原料・香粧品原料

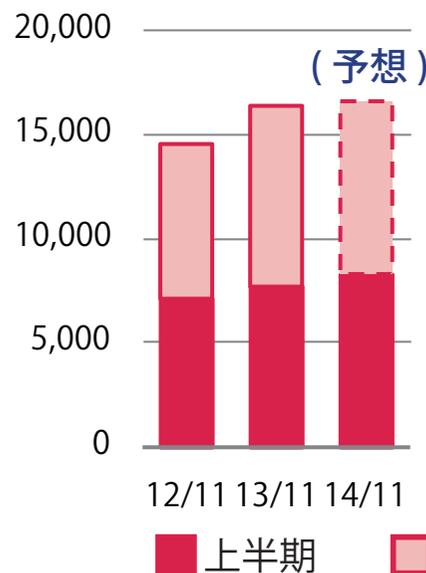
積極的な営業活動により増収だが、営業利益は微減

ジェネリック医薬品原料は、商社・メーカー機能との一体営業や開発専任部署による提案などにより大幅に伸長

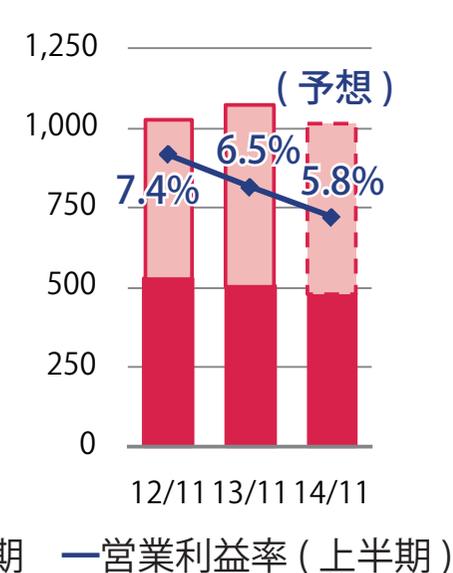
一般用医薬品原料は、血管収縮剤原料が伸長
解熱鎮痛剤原料などは低調に推移

香粧品原料は、主力製品の新規採用もあり好調に推移

□売上高 (百万円)



□営業利益 (百万円)

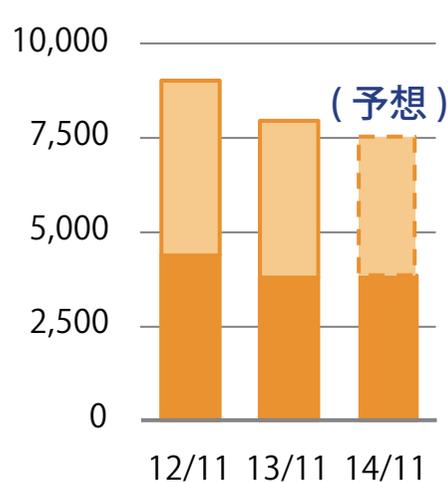


化粧品

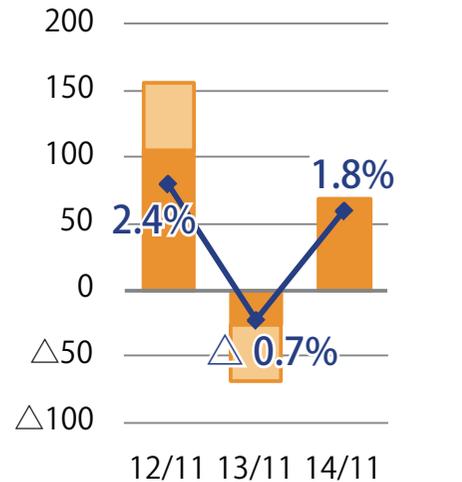
厳しい環境ではあるものの、営業利益黒字転換

- 国内は、プリント配線板、チップ部品向け薬品が堅調に推移
- 海外は、チップ部品向け薬品が堅調
プリント配線板向け、その他の電子部品向け薬品が低調
- 酢酸類や特殊溶剤が大幅に伸長

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

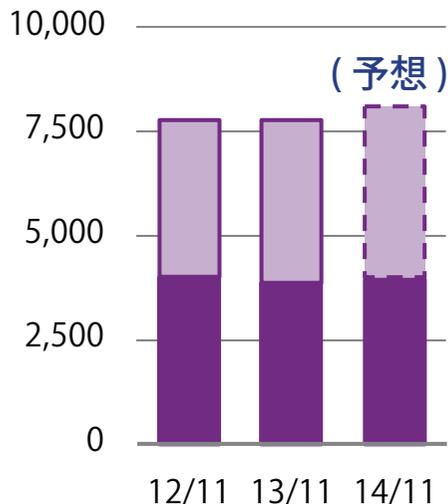


食品原料・機能性食品

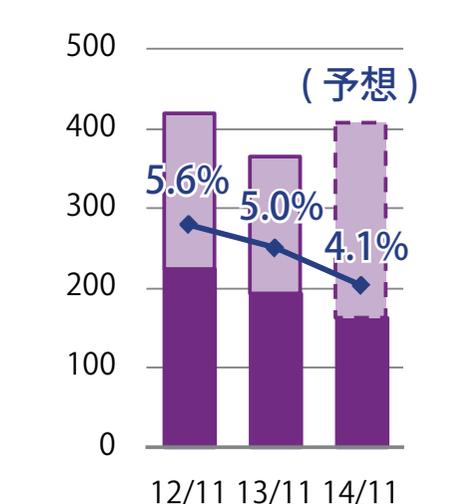
拡販に努めるも、輸入品の原価率アップにより減益

- 食品原料は、関連会社製品の提案、農産加工品、天然調味料、国内仕入品の拡販に努めるも、全体としては低調に推移
- 機能性食品は、美容、エイジングケアを訴求する原料の拡販に努め、全体としては堅調に推移

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



(単位：百万円)

< 資産の部 >	2013/11 期末	2014/11 2Q	増減額	< 負債・純資産の部 >	2013/11 期末	2014/11 2Q	増減額
現金・預金	3,835	3,517	△ 318	支払手形・買掛金 ^{※2}	12,229	12,053	△ 176
受取手形・売掛金 ^{※1}	15,809	15,724	△ 84	短期借入金	2,658	2,442	△ 216
棚卸資産	4,571	4,874	303	その他流動負債	2,172	2,215	43
その他流動資産	818	674	△ 143	長期借入金	1,157	1,092	△ 65
有形固定資産	7,405	7,412	7	その他固定負債	2,580	2,577	△ 2
無形固定資産	351	349	△ 2	負債合計	20,797	20,380	△ 416
投資その他資産	4,887	4,855	△ 31	株主資本	16,163	16,341	177
				その他の包括利益累計額	717	686	△ 30
				純資産合計	16,881	17,027	146
資産合計	37,678	37,408	△ 269	負債・純資産合計	37,678	37,408	△ 269

※ 1 受取手形・売掛金には電子記録債権を含みます。 ※ 2 支払手形・買掛金には電子記録債務を含みます。

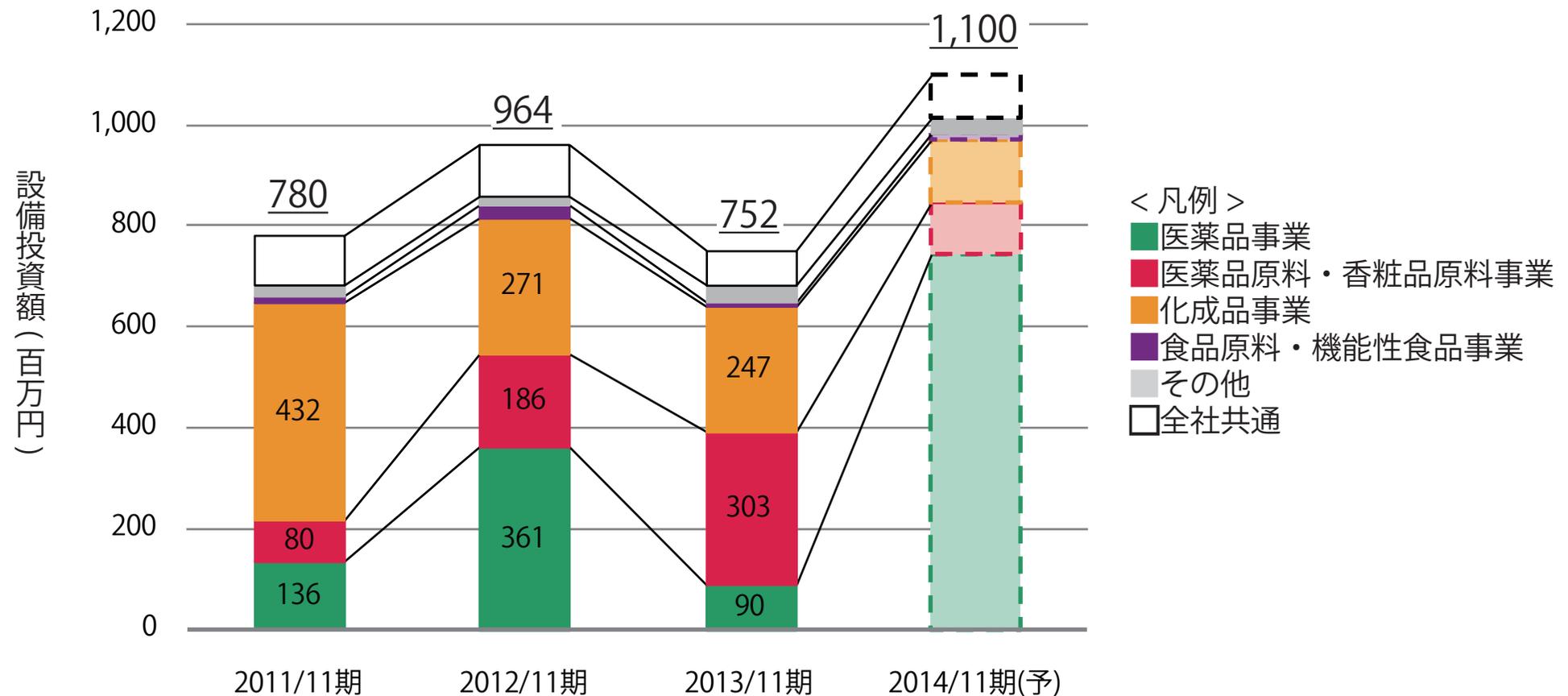
(単位：百万円)

	2013年11月期 第2四半期	2014年11月期 第2四半期	増減額
営業活動によるC/F	145	591	445
税金等調整前四半期純利益	553	578	25
減価償却費	370	376	6
その他	△777	△363	414
投資活動によるC/F	△582	△544	38
有形固定資産の取得による支出	△180	△271	△91
無形固定資産の取得による支出	△103	△55	48
その他	△298	△216	81
財務活動によるC/F	△430	△444	△13
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△200	0
長期借入金の返済による支出	△81	△81	0
配当金の支払額	△100	△100	0
その他	△49	△62	△13
現金及び現金同等物の増減額	△847	△398	448
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,443	3,305	△137

設備投資については生産状況、修繕計画に応じて積極的な設備投資を行ってまいります。

2014年11月期の主な設備投資は以下の通りです。

- 上半期実施・・・チューブ充填機
及び付帯設備（岩城製薬 蒲田工場）
- 下半期予定・・・ローション充填機
及び付帯設備（岩城製薬 蒲田工場）



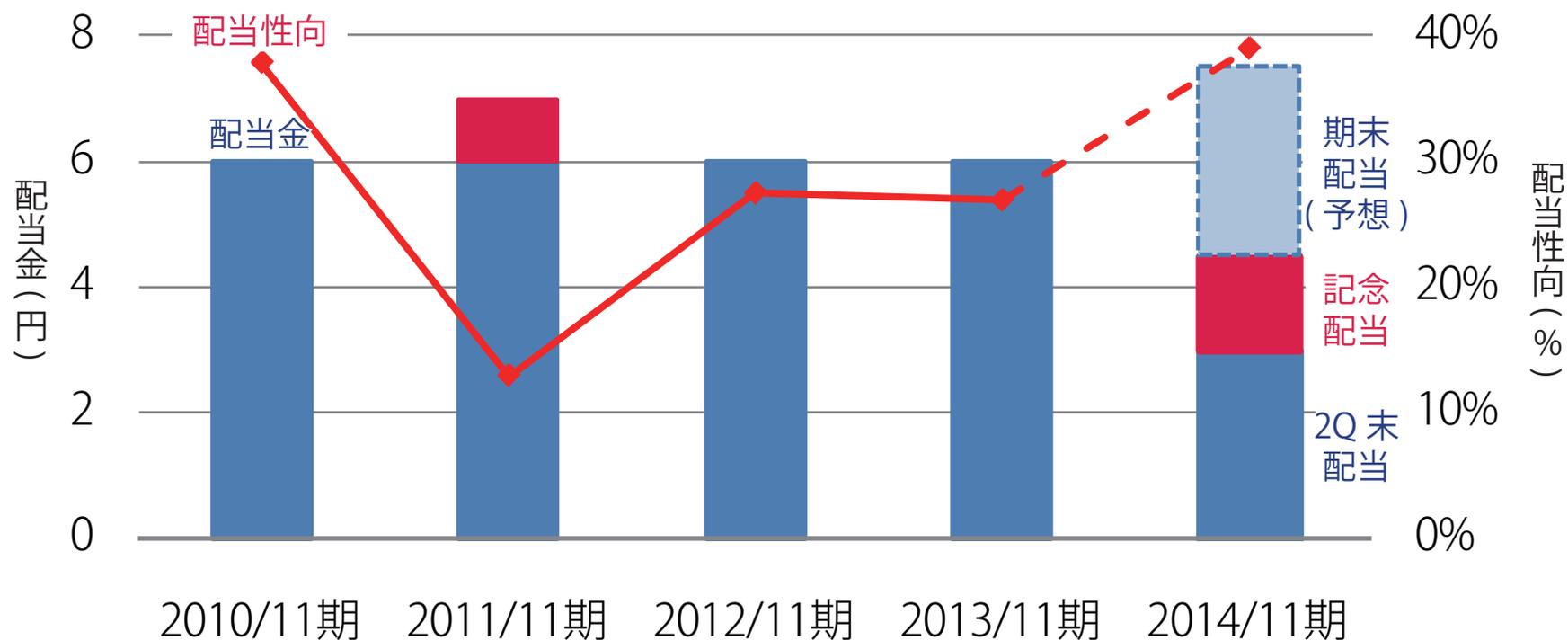
(単位：百万円)

	上半期 実績		通期 予想	前期比	
		進捗率			前期増減額
売上高	26,736	50.4%	53,000	1.0%	535
営業利益	614	61.4%	1,000	△ 0.8%	△ 7
経常利益	581	52.9%	1,100	△ 4.7%	△ 54
四半期(当期)純利益	318	49.1%	650	△ 13.9%	△ 104

当社は将来にわたって経営基盤の強化と収益の向上を図り、株主の皆様への安定的かつ継続的な成果の配分を行うことを基本方針としております。

2014年11月期第2四半期末については、創業100周年を迎えご支援いただいた株主の皆様に対し感謝の意を表するため普通配当3円に記念配当1円50銭を加えた4円50銭とさせていただきます。

		単位	2010年 11月期	2011年 11月期	2012年 11月期	2013年 11月期	2014年 11月期(予想)
E P S	円		15.85	54.37	21.88	22.34	19.24
配 当 金	円/株		6.00	7.00	6.00	6.00	7.50
配 当 性 向	%		37.9	12.9	27.4	26.9	39.0



今後の取り組み

代表取締役社長 岩城 修

グループ中期経営計画の最終年度である2014年11月期上半期には一定の成果をあげることができました。

基本戦略の概要	2014年11月期上半期の主要な成果	
事業規模の拡大 事業の基盤強化	医薬品事業の 変革と収益改善	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品の販売数量が増加し、共同開発・受託品の好調があり順調に推移 一般用医薬品の卸売においては、自社企画のPB商品を投入
	医薬品原料事業の シェア拡大	<ul style="list-style-type: none"> 国内ジェネリック医薬品メーカー向け自社原料による売上増 グレンマーク社(インド)との提携による販売増
	化成品事業 (表面処理薬品)の 海外展開	<ul style="list-style-type: none"> タイ王国の生産拠点の商業生産を開始 韓国に販売拠点の現地法人設立
収益構造改善	<ul style="list-style-type: none"> 生産能力拡大に向けて設備投資や生産効率改善を実施(岩城製薬) 	
	<ul style="list-style-type: none"> グループ会社の重複業務集約を実施 	

岩城製薬においてはジェネリック医薬品および医薬品原料市場へ注力すべく、積極的な設備投資を行い需要の取り込みを図ってまいります。

医薬品

- ①設備投資（蒲田工場）
 - ・ ローション充填ラインの増強（下半期）
- ②生産委託の推進
 - ・ 生産委託につき委託候補先と検討中
- ③新製品の投入
 - ・ 引き続きジェネリック医薬品の新製品を投入



<チューブ充填機>
(上半期に導入)

医薬品原料

- ①設備投資（静岡工場）
 - ・ 生産ラインの強化による増産を目指す
- ②新製品投入
 - ・ 先発医薬品の特許切れに合わせ医薬品原料の開発を推進
 - ・ 各ジェネリック医薬品メーカーと技術打ち合わせ中



<F-5 GMP^{*}適合工場設備>

※ "Good Manufacturing Practice" の略称で医薬品の製造管理、品質管理について定めた基準のこと

メルテックスにおいては、エレクトロニクス関連市場や国内の表面処理薬品関連市場は依然として厳しい環境が想定されますが、積極的な投資による収益力の強化を図ってまいります。

海外拠点の概況

- タイ王国の生産拠点にて商業生産を開始
一部製品の製造を日本から移管
- 韓国に販売拠点の現地法人設立 (2014/5/1)
顧客企業の現地調達ニーズに対応するため、
販売から技術サービスまでの一貫提供体制を構築
- 中国販売拠点の再構築スタート
深圳事務所を増強し、分公司(支社)に格上げ
華南地域の顧客対応力を強化

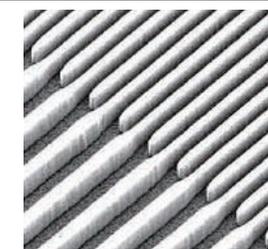


※ MX=メルテックス
<メルテックスグループ海外拠点>

今後の取り組み

- タイ王国の生産拠点の本格稼働
- 日立化成株式会社とのアライアンスによる拡販
- 中国における拠点の再構築
- 高密度パッケージ基板向け薬品のさらなる拡販

微細配線用銅表面粗化剤



L/S=5/5 μm
回路形成に有利

<高密度パッケージ基板向け薬品>

ご参考資料

■会社概要

(2014年5月31日現在)

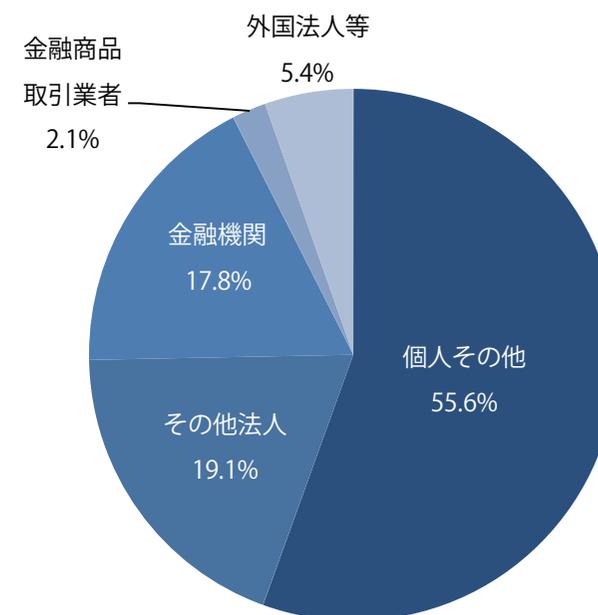
社名		イワキ株式会社
創業		1914年(大正3年)7月10日
設立		1941年(昭和16年)9月20日
資本金		25億7,238万円
従業員数		266人
主要取引金融機関		三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行
主な事業所		本社 大阪支社 富山支店 名古屋支店 福岡支店

■株式の状況

(2014年5月31日現在)

上場市場		東京証券取引所第一部
証券コード		8095
発行済株式の総数		34,147,737株(自己株式を含む)
株主数		5,371名
主な大株主		株式会社三菱東京UFJ銀行 イワキ従業員持株会 ダイソー株式会社 日本興亜損害保険株式会社 株式会社みずほ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 日本生命保険相互会社

所有者別株式分布状況

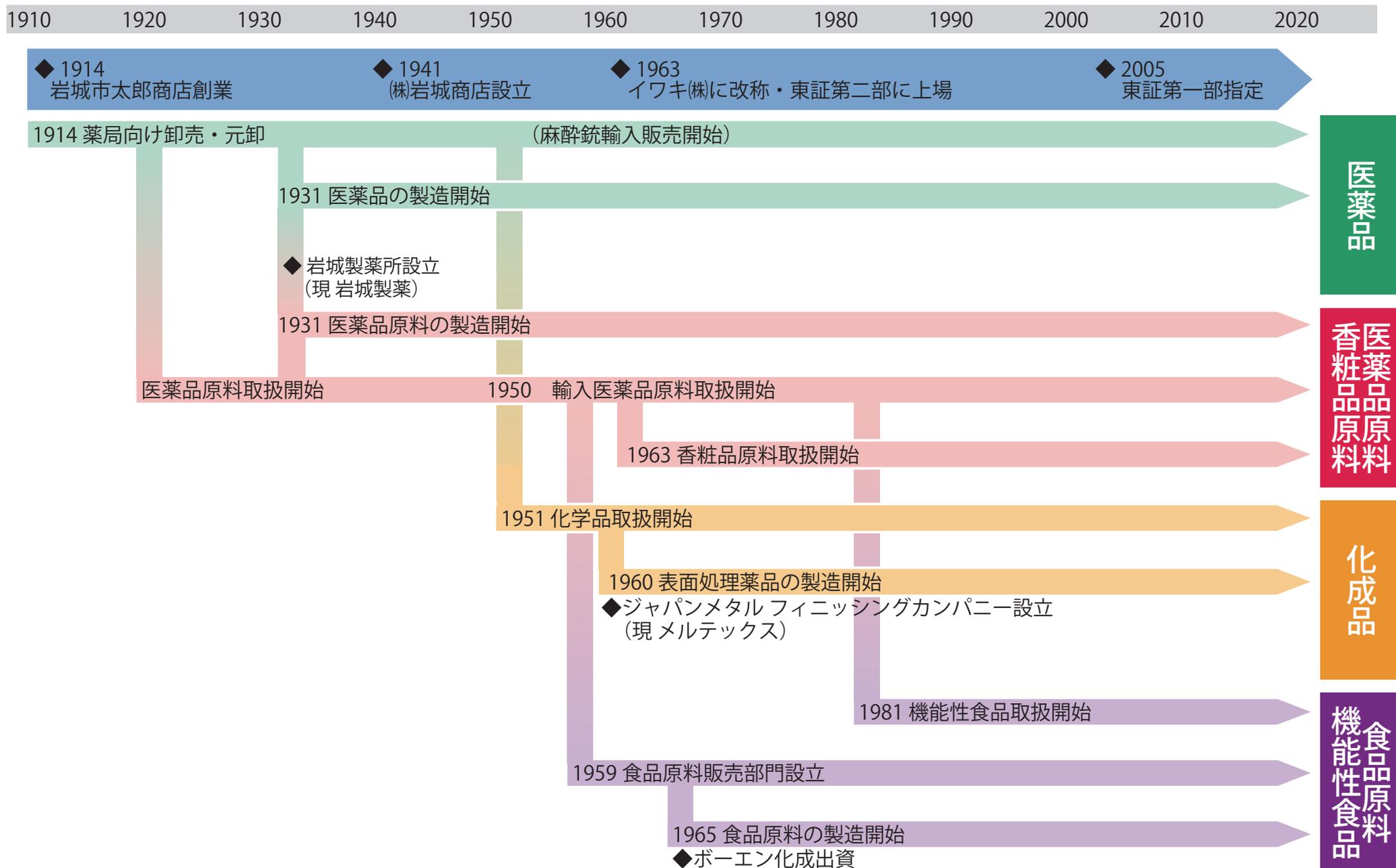


※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

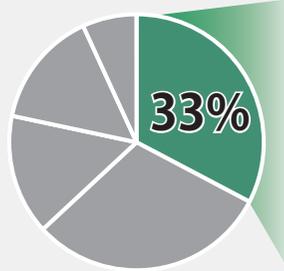
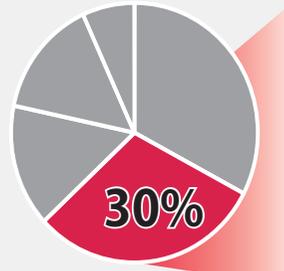
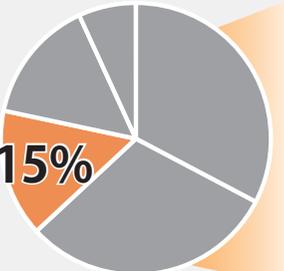
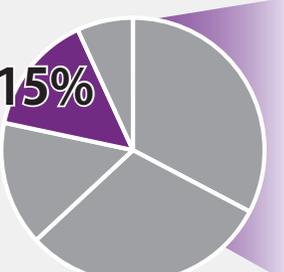
イワキ株式会社を中心に連結子会社 9 社、持分法適用会社 2 社、その他 6 社の合計 18 社からなる企業グループです。

事業	会社名	業種	主な事業内容	本社所在地
医薬品事業 医薬品原料・化粧品原料事業 化粧品事業 食品原料・機能性食品事業 その他	イワキ株式会社	商社	医薬品、医薬品原料、化粧品原料、化成品、食品原料、機能性食品等の販売	東京都
	岩城製薬株式会社	製造業	医療用医薬品、一般用医薬品、化成品等の製造・販売	東京都
	ホクヤク株式会社	卸売業	北海道における動物用医薬品等の販売	北海道
	株式会社エイ・エム・アイ	卸売業	千葉・茨城地区における動物用医薬品等の販売	千葉県
	(株)パートナー・メディカル・システムズ	小売業	関東地区における調剤薬局の経営	東京都
	メルテックス株式会社	製造業	表面処理薬品、電子工業用薬品の製造・販売	東京都
	東海メルテックス株式会社	製造業	表面処理薬品の製造	三重県
	メルテックス香港社	卸売業	香港および中国における表面処理薬品の販売	香港
	台湾メルテックス社	卸売業	台湾における表面処理薬品の販売	台湾
	MELTEX ASIA PACIFIC Co., Ltd.	卸売業	アセアン地域における表面処理薬品の販売	タイ王国
	MELTEX(TIANJIN)LTD .	卸売業	中国華東・華北地域における表面処理薬品の販売	中国
	MELTEX ASIA(THAILAND)Co., Ltd.	製造業	アセアン地域における表面処理薬品の製造・販売	タイ王国
	MELTEX KOREA Co., Ltd.	卸売業	韓国における表面処理薬品の販売	韓国
	ボーエン化成株式会社	製造業	天然由来食品原料の製造・販売	埼玉県
	東京化工機株式会社	製造業	プリント基板製造用プラントの製造・販売	長野県
	アプロス株式会社	小売業	化粧品、健康食品等の通信販売	東京都

創業時の事業ドメイン「医薬品」を基礎として、関連分野に事業を展開してまいりました。各事業には製造機能を持つグループ会社を有しております。



医薬品を中心とした4つの事業セグメントにおいて幅広い営業活動を展開しております。
また製造機能をグループ内に持つことにより、開発から販売までを手掛けております。

	売上高構成比	事業内 構成比	主な事業内容	主な販売先
医薬品		25%	医薬品（医療用，一般用）の製造・販売	医薬品卸
		55%	医薬品（一般用医薬品）の卸売	ドラッグストア 薬局・薬店
		20%	動物用医薬品の販売、その他	畜産農家，動物病院など
医薬品原料・ 化粧品原料		80%	医薬品原料の製造・輸入・販売	医薬品メーカー
		20%	化粧品原料の輸入・販売	化粧品メーカー
化成品		75%	表面処理薬品の製造・販売	プリント基板メーカー 電子部品メーカー 半導体メーカー
		25%	その他化成品の製造・販売	化学品メーカー
食品原料・ 機能性食品		40%	食品原料（天然調味料，乾燥野菜，乳製品等）の輸入・販売 天然調味料の開発・製造	食品メーカー （調味料，製菓，即席麺等）
		60%	サプリメント原料の販売	健康食品メーカー

本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

問い合わせ窓口 経営企画部 大森
加賀谷
tel:03-3279-0564